~13
2378
357

遠 2378 357

屋根船付提灯 白魚船の箒火 全部

寔佃天網島

市川三升作
哥川國貞画 六冊

文政戊子春 仙鶴堂梓

年々歳々花相似たり。歳々年々新繪双帋の著述も趣向不同。先は雷名の諸大人乃名文筆意を覓まるゝ。戯述とは共勧善懲悪を壁言諭。都而悟道の近路ゆゑ。普く評判海内よ轟頗感ぎるに依りて。愚智短戈の己ホど死ぬ不可勝計ども。看様見真似の下手は横数高。四方れ君子の御見眉と画ユを力は當年も亦の拙えの而に應じ。舉人非い吾智乃不足所ぢぐる。不及合て三外れ代述。看宜れぞ徴矣風は神の業い元より風雅とは。なめども。生れ付る不風流爰に顕は前後代合巻趣向いつも猿智恵の三本れ。反禿筆採て假字遠ゆら落字ゆらけも。年ゆ反就稿。文分爰ふれあり反ヨロ紙若双紙の薄覧ありぐるれの誤のぶ。村學究の識を免れのと爾云。

文政十一子年新版

五柳亭徳升戯識

玉菊
追福
あるひとせよ
仲の町
竹住調
今戸
玉庄述
音ふのこゝろなくこと世乃なり
このゝことばのひとりごとの
こゝろをこゝろとも
あるひとせや
あるひとせ
花乃
咲るゝ
待乳山候

こゝろをこゝろとも
世ゝ英きく
きゝ菓子
あくゝ
乃水八秀の
玉菓
松君れかゝと
きゝありきくの秀
三谷
八百善
松八を
ゆくくるゝの
ゆゝ義
うゝ
鎌倉
花水
橋の
酒田の
あらく

朝顔乃夢き夢乃ぬけあり
荷方
香
曽根崎
孫三郎
於亀
道具屋

里見家の藩中
原田良助

紙屋治兵衛

紀伊國屋文嘉

鶴岡

紀伊國屋小春

ちよ姫乃

春雨

法橋元史邦

万
治
小

良

治

良
尼
万
治
紅

亀

小

國貞画　三升作

傾城大雙六　初編　粗奇入

江戸名物花見雙六　日本橋より振出し　日本橋へ上り　彩色風の面白き　歌川略考彩色風

風流三升ひき

晴雨両天傘　大形代銀十匁　小形代銀五匁

黒油美玄香　一色　半八銅　右あぶらを用ひ　製法賣弘

蘭霊應丹功錄　妙薬　坂本氏

賣弘所　江戸室町二丁目　河内屋長兵衛

取次所　同　通油町　鶴屋喜右衛門

靈應丹 主治

一包價 銀壹匁五分

佃寅
天の紐
嶋
中

あくよ

爰つくど佃

三升作　國貞画

てんのう

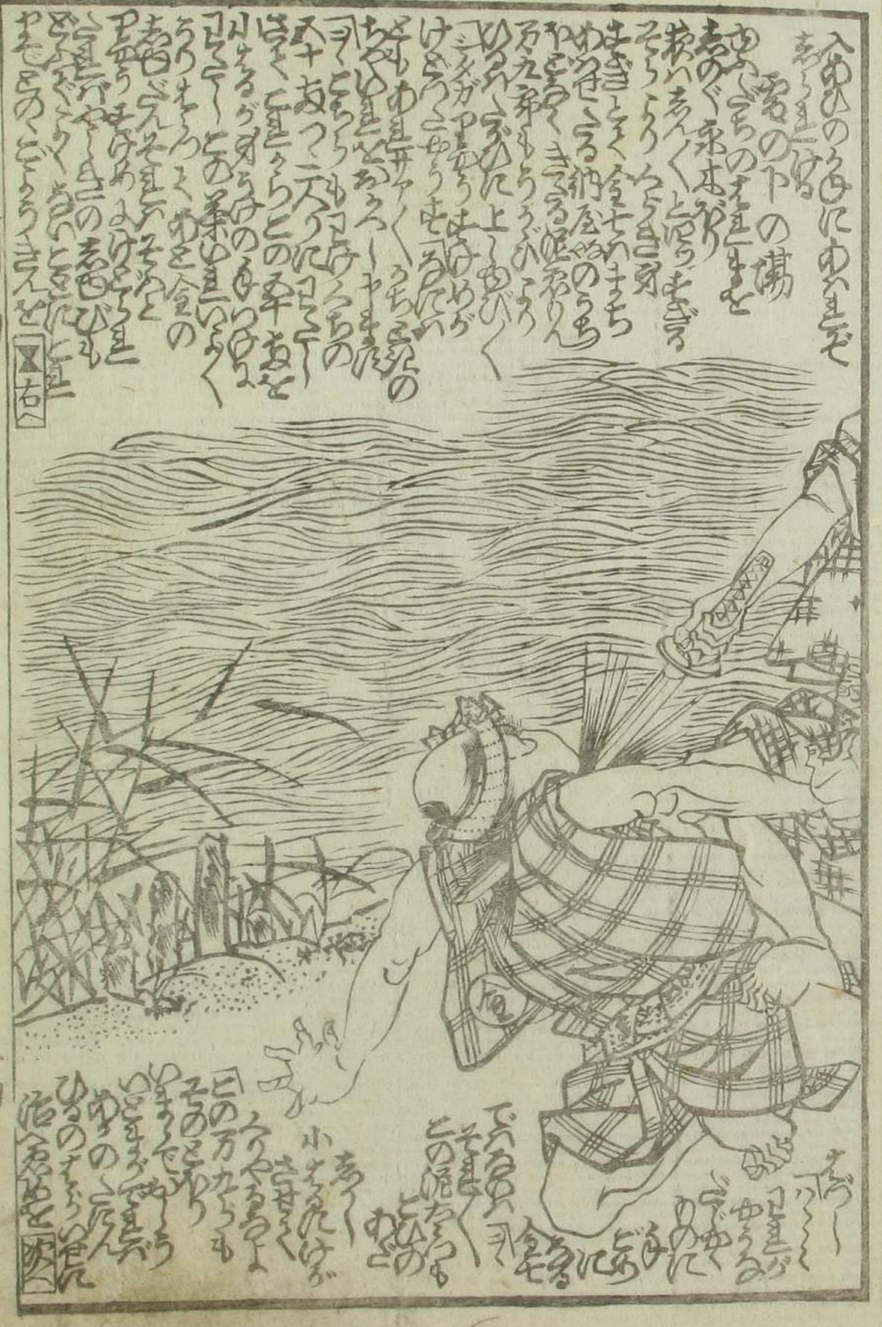
天網

中編

まつな

嶋

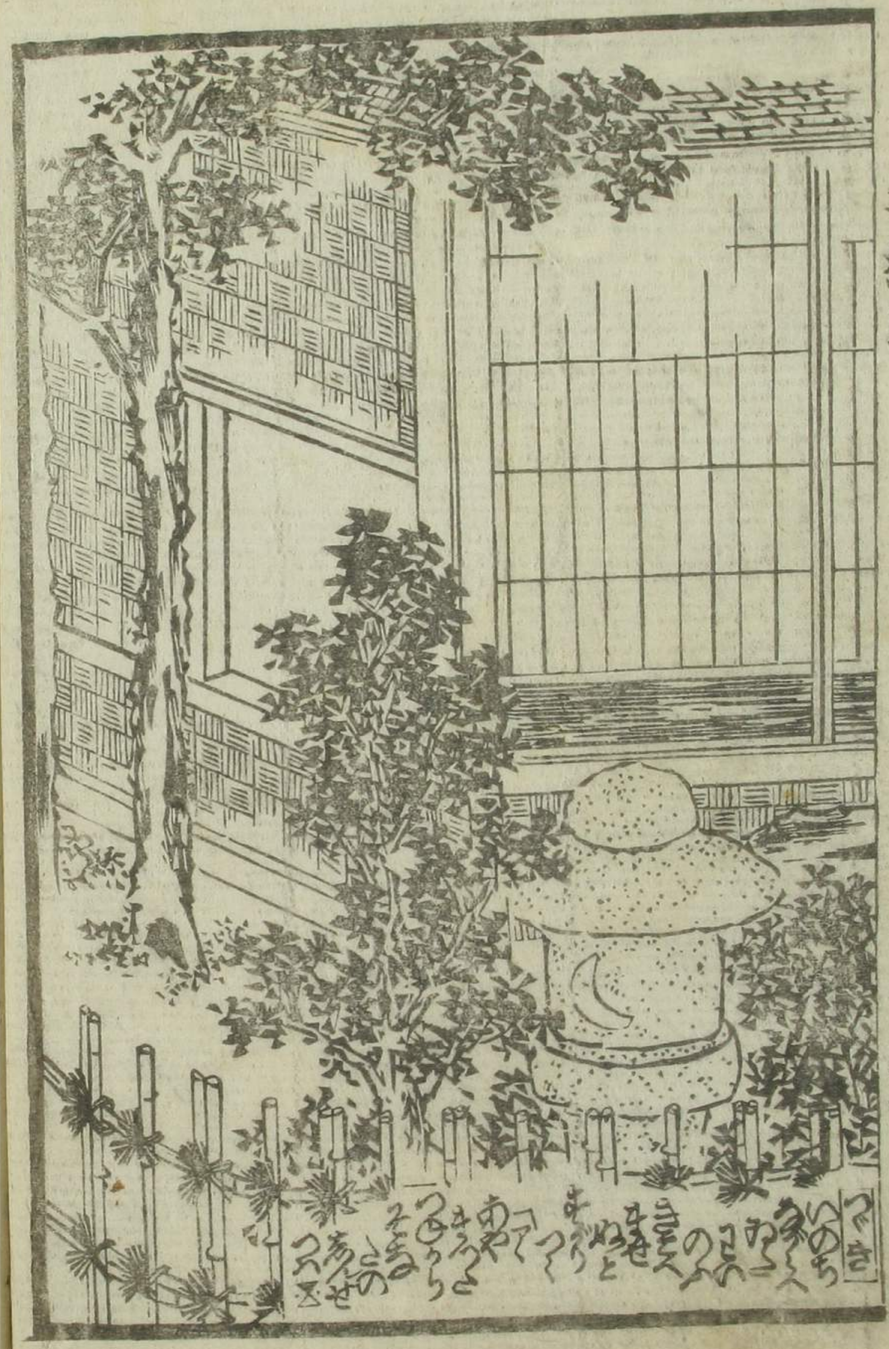
鶴喜板



つぎは

三の巻へ

四の巻へ



國貞画
三升作
筆者
仙橘書

三升作
鶴喜版
下

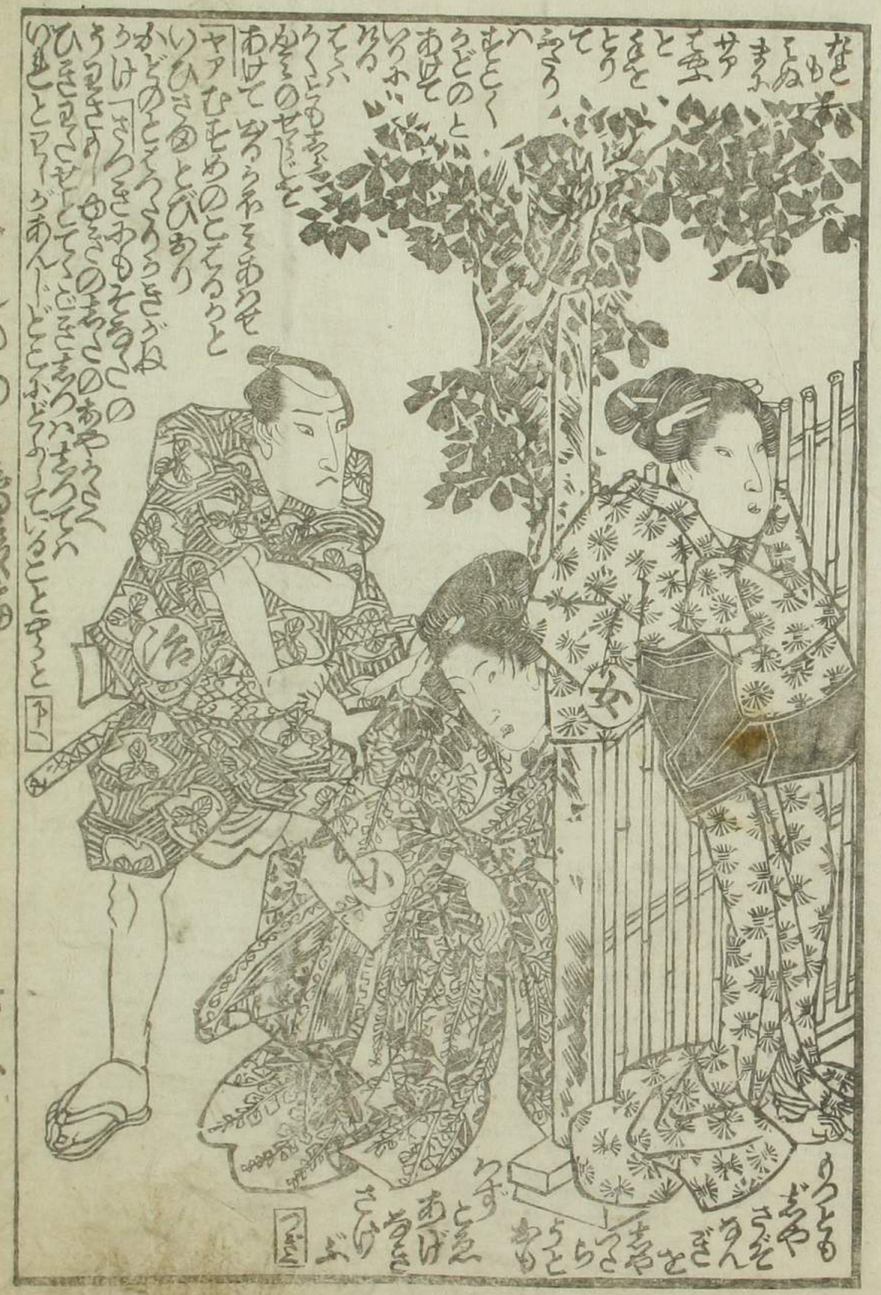
五ぢ
浦くらべ
三ぺん地

下編

鶴屋 摂

つぎ
上の

▲こゝやうのとなり



男
女

男
女

侍
女

侍

五渡亭國貞画　市川三升作

文政十一年戊子春鶴屋喜右衛門板

御免江戸暦開板所　毎年十月下旬頃より賣初めはじめ　浅文社仮付

載陽帖　全一冊　南山禅師書　四季和文章　石摺

新撰日本名所之繪　唐紙摺一枚　蕙齋鍬形紹眞筆

新撰女古狀揃園生竹　大本半紙本　両品出来　高井蘭山編撰

三國一夜談　全五冊　画入讀本　曲亭馬琴作

即考百籤　全一冊　劉卜子豊蔵先生著　玄同放言　初編二編共二冊　第三編冊近刻

笠羽隨筆

還魂紙料　古画入二冊　柳亭種彦著

[illegible]の遊女の小傳肖像[illegible]百年[illegible]放下師傀儡の[illegible]俳諧の句解常言の釈[illegible]仮名冊子[illegible]附し好事雅客の[illegible]書りて[illegible]眼ハ[illegible]

歡童戯筆　遊言画手本　一名　鳥羽繪早まなび　全一冊

[illegible]

廣益塵劫記　懐中早割大全　小本一冊

[illegible]

新形染物目　揩花手引糸　前編出来　前北斎為一筆　後編嗣刻

[illegible]

芝居役者　似顔早稽古　後編　全一冊　五渡亭國貞画

[illegible]

八文舎自笑評　三箇之津役者評判記　全三冊

[illegible]

芸品定　[illegible]

[illegible]の都路　全

[illegible]大人の狂歌入[illegible]